

平成22年3月19日
原子力安全対策課
(21-105)
<16時00分記者発表>

美浜発電所2号機の原子炉手動停止について (原子炉格納容器内での水の滴下の確認)

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

美浜発電所2号機（加圧水型軽水炉；定格出力50.0万kW）は、定格熱出力一定運転中の本日3月19日12時頃、運転員が中央制御室において、監視カメラにより原子炉格納容器内を確認していたところ、化学体積制御系統^{*1}の再生熱交換器室内^{*2}で水の滴下（4滴／分）が確認された。

運転パラメータや格納容器内の放射線モニタ等に異常は認められていないが、漏れ箇所の特定や詳細な点検調査を行うため、本日14時頃から出力降下を開始した。今後、同日21時頃発電を停止、同日22時頃に原子炉を停止する予定である。

なお、この事象による環境への放射能の影響はない。

*1：化学体積制御系統

原子炉冷却系統から冷却材の一部を抽出し浄化した後、保有水量やほう素濃度等を調整して、原子炉冷却系統に冷却材を充てんする系統

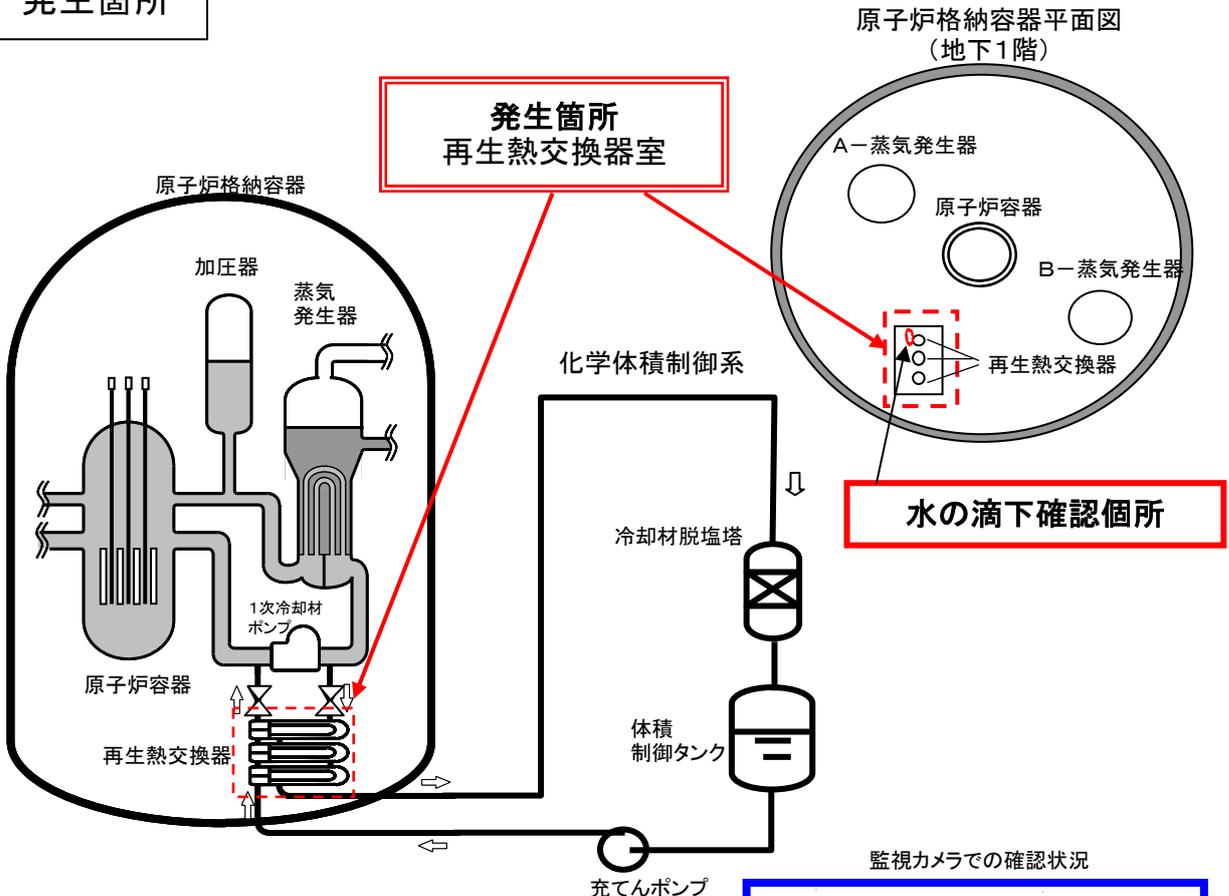
*2：再生熱交換器

原子炉冷却系統から化学体積制御系統への抽出水と原子炉冷却系統への充てん水との間で熱交換を行うことにより、充てん水を加熱し、原子炉冷却系統への熱的影響を緩和する。

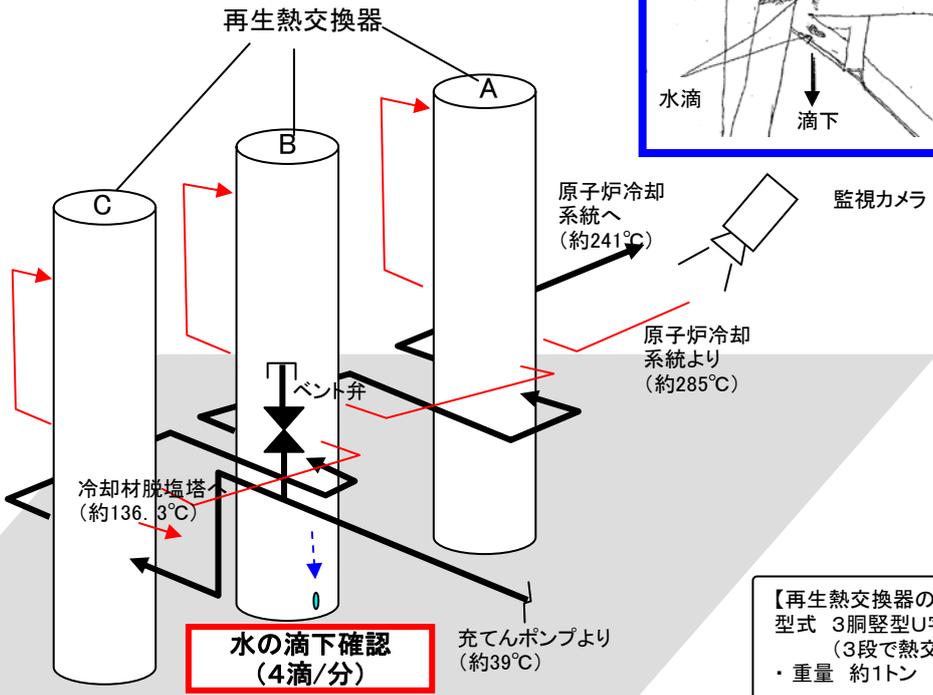
問い合わせ先(担当：有房)
内線2354・直通0776(20)0314

美浜発電所2号機の原子炉手動停止について (原子炉格納容器内の水の滴下の確認)

発生箇所



再生熱交換器室のイメージ



【再生熱交換器の仕様】
 型式 3胴型U字管式
 (3段で熱交換する熱交換器)
 ・重量 約1トン